

講義科目名称： 地域包括ケア看護開発学特論

授業コード： 8420004010

英文科目名称： Advanced Nursing Development for Comprehensive Community Care

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1学年	2単位	選択必修
担当教員			
◎小長谷百絵、◎谷本千恵、高林知佳子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】	【授業時間】		
	通年	30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎小長谷百絵 ◎谷本 千恵 高林 知佳子	新潟県立看護大学 同上 同上	213 312 304	konagaya@niigata-cn.ac.jp tanimoto@niigata-cn.ac.jp takabaya@niigata-cn.ac.jp

【大学の科目区分】
専門科目

【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】
◎ ○ ○ ○ ◎

到達目標	1. 地域包括ケアに関する実践・研究の動向から将来を見据えたアプローチ法や概念・理論を追究し説明することができる。 2. 地域共生社会実現のための実践の中から関心のある特定領域を取り上げ、国内外の研究の重要課題を検討し課題解決のための研究方法論を追究し述べるすることができる。 3. 地域に住む生活者を対象にした保健医療福祉政策の変遷と動向から、必要な看護政策を提言できる。
授業概要	子どもからお年寄りまで、障がいや病気がある人と地域共生社会を実現するための仕組みづくりと当事者を中心として伴走する具体的な課題解決や必要な研究方法論、理論開発を探究するために看護実践と研究に用いられている概念と理論およびアプローチを検討する。また地域包括ケアシステムにおける保健医療福祉政策の現状と課題から提言の必要な看護政策を検討する。いずれの単元も事前に自己学修して、その成果を発表し、討議するというアクティブラーニングの授業を展開する。
授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：授業概要の理解 概要、授業の進め方、評価についてのガイダンス 備考：小長谷</p> <p>2, 3 授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討議 学修課題：看護研究論文の内容一貫性を理解する 自己の関心課題について国内外の研究論文の発展的クリティークを行うことができる 備考：小長谷</p> <p>4, 5 授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討議 学修課題：看護実研究に用いられる概念と理論を理解する 関心領域の文献レビューを行い、知識を体系的に示すことができる 備考：小長谷</p> <p>6, 7 授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討議 学修課題：保健医療福祉政策の変遷、現状を理解する 地域に住む生活者に対する保健医療福祉政策の変遷、現状を示すことができる 備考：高林</p> <p>8, 9 授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討議 学修課題：課題解決のための看護政策を検討する 保健医療福祉政策の課題解決に向けた看護政策を提言できる 備考：高林</p> <p>10, 11 授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討議 学修課題：精神障害者に対する保健医療福祉施策の変遷と課題を理解する 精神障害者に対する国内外の保健医療福祉政策の歴史と取り組み、課題について説明 できる 備考：谷本</p> <p>12, 13 授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討議 学修課題：精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの実現に向けた看護施策を検討する 障害の有無にかかわらず安心して自分らしく暮らせる社会の実現に向けた看護施策に</p>

	<p>について考察・提言できる 備考：谷本</p> <p>14, 15 授業内容 授業形態：講義・プレゼンテーション・討議 学修課題：理論構築における概念分析を理解する 関心領域についての概念分析を行い研究の基礎を構築できる 備考：小長谷</p>
事前・事後学習	<p>事前学修：自己の看護研究上の課題や関心を明確にする。 事後学修：講義内容を振り返り各自の看護研究に応じて新たな文献を精読する</p>
評価方法、評価基準	到達目標 1～3に対して課題の資料作成に基づく発表：80%、レポート(1)(2)の課題達成度：20%により評価する。
テキスト	最新の論文や文献を使用するため現時点では指定せず授業内で案内する。
参考図書・資料等	<p>牧本清子、山川みやえ（編著）（2020）：よくわかる看護研究論文のクリティーク第2版，日本看護協会出版会。 中木高夫（翻訳）（2008）：看護における理論構築の方法、医学書院。</p>
受講、課題、資料配布等のルール	初回開講時ガイダンス及び単元の進度に応じて適宜説明する。
教員からのメッセージ	広範囲な看護（学）の実践を俯瞰し、重要課題の分析に基づく取組みとして、研究活動を推進・先導できる地域包括ケアの研究者のあり方を追究して欲しい。
オフィスアワー	随時：メールで事前に連絡を下さい